

コアグチェック® Pro II

クイックリファレンスガイド

測定の準備 (ProII専用試験紙を使用してください。)

- 1 試験紙容器を手元に用意します。試験紙は測定の直前に取り出してください。
- 2 試験紙のロット番号に応じたコードチップを本体に差し込んでください。
- 3 穿刺器具の準備をします。本体に血液滴下の指示がでるまで指を刺さないでください。



注意事項

- ProII専用試験紙を使用してください。
- 初めて測定を実施する際には、必ずコアグチェック® ProIIのセットアップ方法、及び使用方法に関し取扱説明書を参照してください。
- 検体の採取時には、必ず血液サンプリングに関する一般的注意及びガイドラインに従ってください。
- 患者測定に使用したすべての試験紙は、検査室または医療行為における廃棄方針に従って処分してください。
- 使い捨て(ディスポーザブル)タイプの穿刺器具を使用し、個人使用専用のものは使用しないでください。(弊社推奨:セーフティプロプラス)



静脈採血の場合

注射器を用いて静脈から採血した際には、最初の4~5滴を捨ててから血液を滴下します。



- 1 ①を押して本装置の電源を入れます。平らで振動のない面に置か、ほぼ水平になるように手で持ってください。



- 2 測定アイコンを選択し、必要に応じて患者IDを入力、もしくはバーコードをスキャンします。



- 3 試験紙マークが表示されます。試験紙容器から試験紙を取り出します。
⚠ 試験紙を取り出した後は、すぐに容器の蓋を閉じてください。



- 4 試験紙を矢印の示す方向に奥までしっかりと挿入します。



- 5 砂時計マークが表示され試験紙が加温されます。



- 6 加温後3分以内に血液を滴下してください。



- 7 穿刺器具で指先を刺し、指先に血液のしずくをつくります(指を圧迫したり、きつく絞り出したりしないでください)。指からの1滴目の血液を滴下します。



- 8 試験紙の滴下部分に、血液を滴下します。あるいは検体滴下部分の横に、血液のしずくを触れさせます(毛細管現象により、試験紙が血液を吸い取ります)。穿刺してから15秒以内に、試験紙に血液を滴下してください。
 ※ 静脈全血を使用して測定することも可能です。詳細は取扱説明書をご参照ください。

⚠ 血液の追加はしないでください。



- 9 血液マークが消え装置から確認音が鳴ると砂時計マークが表示され測定開始を知らせます。

⚠ 測定結果が表示されるまで、試験紙に触らないでください。



- 10 選択した単位で測定結果が表示され、自動的に保存されます。

表示マークリスト

表示情報及びマーク(以下のマークがスクリーンに表示されることがあります。)

マーク	意味
	バッテリー残量: ■バッテリーパックが完全に充電されている場合、全セグメントが点灯します。 ■バッテリー残量が減っていくにつれて、セグメントが1つずつ消えていきます。 ■残っているセグメントが1つだけになると、表示アイコンの色が赤色に変わります。 ■すべてのセグメントが消えると、測定を終了させることができなくなります。速やかに充電してください。
	オペレーターは本装置が動作を完了するまで待つ必要があります。
	検体を滴下してください(検体を滴下するまでの残り時間が表示されます)。
	試験紙コードチップを挿入してください。
	ステータスメッセージを報告します(9章、トラブルシューティングを参照)。
	エラーメッセージ又は警告を報告します(9章、トラブルシューティングを参照)。
%Q	結果がQuickパーセント値(%)で表示されます。
SEC	結果が秒単位で表示されます。
INR	結果がINR単位で表示されます。
	精度管理:測定結果が指定範囲を上回っています/下回っています。
>	選択した測定単位の結果が測定範囲を上回っています。
<	選択した測定単位の結果が測定範囲を下回っています。
	室温又は装置温度が許容範囲から逸脱しています。
	測定チャンバーカバーが開いています。

※記載されている表示、メッセージは予告無く変更される場合がございます。

エラー&インフォメーションメッセージ

- 状況に応じて、本装置の画面にエラーメッセージが表示されることがあります。
- エラーメッセージが表示された場合には、次のエラーに関する対応法を試してください。
- 問題が解決しない場合は、積水メディカル株式会社 コールセンターにご連絡ください。

エラー表示の一例

テストストリップ使用期限切れ

✖
E-201

EXP

テストストリップ222の使用期限が切れています。本装置の日付設定を確認し、期限切れではないロットのテストストリップを使用してください。

✖

2016-12-01

インフォメーション表示の一例

残り測定回数

i
I-006

最大測定回数に達するまで、あと500回測定を行います。カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

✔

2016-12-01

E-406: 試験紙は、血液凝固阻剤の経口投与とヘパリン注射の併用療法を行っている患者さまに使用することができます。測定に影響しないヘパリンの最大濃度については添付文書を参照してください。ただし、いかなる状況下においても検体の滴下にヘパリン加キャピラリーチューブを使用しないでください。必ず指先を刺してから15秒以内に試験紙に血液を滴下してください。



血液凝固に長時間かかる患者(> 8 INR、<5% Q)に対して、まれにエラーメッセージE-406が出される場合があります。測定を繰り返す際に再びエラーメッセージが表示される場合は、別の方法を使って測定結果をチェックする必要があります。

製造販売元

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

販売元

積水メディカル株式会社
東京都中央区日本橋二丁目1番3号

販売提携

イーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10